

読書週間 6/11~6/15

自分にとって特別な本を見つけよう

6月11日からの5日間は前期読書週間でした。読書週間中は「朝の一斉読書」「屋小応援隊による読み聞かせ」「図書委員会の紙芝居」「家庭読書カード」などを行い、全校が本に親しみました。屋小応援隊の読み聞かせの会の皆さんには毎日各クラスを順番に回って学年に応じた本や紙芝居を読んでいただきました。45分間、子どもたちはお話の世界に引き込まれていました。大変有難かったです。2時間目の休み時間には図書委員会による紙芝居もありました。毎日100人を超える大勢の子どもたちが楽しみに足を運んでいました。また校長講話では体育館の大スクリーンを使って河原校長先生が「ありがとさん」という本の読み聞かせをしてくださいました。悲しいけれど心がとても温かくなる素敵なお話でした。読書週間のテーマ「自分にとって特別な本を見つけよう」のポイントについてのお話もありました。それをヒントに子どもたちには「自分にとって特別な本」にたくさん出合っしてほしいと思います。家庭でも引き続き本にふれる機会を作っただけだと有難いです。



せをしてくださいました。悲しいけれど心がとても温かくなる素敵なお話でした。読書週間のテーマ「自分にとっ

て特別な本を見つけよう」のポイントについてのお話もありました。それをヒントに子どもたちには「自分にとって特別な本」にたくさん出合っほしいと思います。家庭でも引き続き本にふれる機会を作っただけだと有難いです。

なかよし相談旬間 6/18~6/29



ふわふわことば辞典

6月初めの児童集会でふれあい委員会が「悲しい思いをしている友だちがいたら、見て見ぬふりをしないで勇気を出して立ち向かおう」と全校に呼びかけました。全員がそのことを意識して生活しているか・・・というとなかなか難しいかもしれませんが、“こうしてほしい” “こうなってほしい” と思うことを言葉ではっきり伝えるのはと

ても大切なことです。そして誰かに助けてもらったり親切にしてもらったりしたら感謝の気持ちや嬉しかった思いを相手に伝えることも大切です。今、2階の放送室前の廊下には、そのような言葉を集めた「ふわふわ言葉辞典」が掲示してあります。どれを見ても相手の心や自分の心が温くなる言葉ばかりです。ふわふわ言葉いっぱいの学校になれば、きっと子どもたちの笑顔もいっぱいになることでしょう。河原校長先生からは「いじめをしない させない ゆるさない」というお話をしていただきました。また姉妹学級で「なかよし給食」を実施したり、各担任の先生との相談も行ったりしました。これから益々、相手を思いやる気持ちを大切に生活して行ってほしいと思います。

ひまわり委員会開催 13日

ひまわり委員会が開催されました。この委員会は学校・家庭・地域の協力のもと児童に関する生徒指導上の諸問題を解決することを目的に設置されています。委員長はPTA会長、副委員長は屋代地区育成会長及び学校長、また委員として民生児童委員屋代地区会長、主任児童委員、補導委員代表、PTA正副会長、学年会長代表、支部長会長、社会部長、そして学校職員代表で構成されています。子ども達の登下校の様子や危険個所などについて話題になりました。子ども達が明るく笑顔一杯に生活していけるよう、見守っていきたいと思います。



民生児童委員・主任児童委員との懇談会 22日



民生児童委員・主任児童委員の皆さんとの懇談会が行われました。屋代地区の民生児童委員16名、主任児童委員2名、計18名の皆さんにお越しいただき、地区別に地域・学校との情報交換を行いました。話題の中心は18日(月)に発生した大阪の地震による事故を受け、各地区の危険個所と避難場所についての確認でした。地域の危険個所につきましては、区長さんを中心に各地区

から声を挙げて市へ訴えていただかなければ改善につながりません。保護者の皆さんにも通学路の危険個所を確認していただいています。子どもたちの安全のために地域ぐるみで取り組んでいただきたいと思います。また、子どもたちの様子をお聞きする中で、日頃から特に安全面については、地域の皆さんにとってもご心配いただき、温かく見守りそして支援していただいているということがよく分かりました。学校としても地域の皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、できることは精一杯やっていきたいです。